

## 特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

## 【担当課：政策企画室広報担当】

議 題	大阪市の広報について（改善に向けた意見聴取）
日 時	令和8年2月9日（月曜） 9時30分～11時50分
場 所	大阪市役所本庁舎5階会議室
出席者	(特別顧問・特別参与)： 清水特別参与、寺本特別参与 (職員等)： こども青少年局（企画部こどもの貧困対策推進担当課長 外） 政策企画室（市民情報部長、広報担当課長 外）
論 点	ヤングケアラー支援の社会的認知向上に向けた効果的な広報について 外
主な意見	<p>(ヤングケアラー支援の社会的認知向上に向けた効果的な広報について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市側の事業説明カタログとならないよう、ターゲットごとに、伝えたいことを絞った方がよい。</li> <li>・ターゲットは、当事者である子どもや周囲の支援をする人、子どもの保護者というように大きく分けて考えていくべきである。</li> <li>・動画であれば、自分はヤングケアラーとの気付きをつくる、実際にヤングケアラーだった方に出てもらい共感を得る、リアリティが伝わるものに、といったことが考えられる。</li> <li>・また、SNSを告知ツールとして活用するだけでなく、子どもが相談するためのコミュニケーションツールとしてもいいのではないか。</li> <li>・YCピアサポなど、名称を聞いても内容がわかりにくいものは、よく読まなくても伝わるような表現に工夫した方がよい。</li> </ul> <p>(「伝える広報から伝わる広報へ」マニュアルの改訂について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各所属担当者の意見に基づき、SNSや動画に関する内容を盛り込むことに異論はなく、特に動画によるコミュニケーションは今後多くなっていく。</li> <li>・SNSや動画の効果的な運用、担当者意見にもある炎上対策についても記載するとよい。</li> <li>・また、今後、生成AIの活用が増加していくと思われるので、その点も検討してはどうか。</li> </ul>
結 論	本日の助言を踏まえ、改善に向け検討を進める。
説明等資料	
備 考	
関係所属 ( 部 課 )	政策企画室市民情報部広報担当